ROOM

ジャック、大きくなれよ。

松久 淳〔作家〕

- TRUCK
- WIGGLE OUT
- JUMP
- RUN
- SOMEBODY

トラックの荷台で、初めて空を見た瞬間のジャックの表情、そしてその「ただの空」に、どうしてこんなに涙が溢れてしまうのだろう。
と、作家っぽい書き出しにしてみましたが、これ以上、かっこいいことも、内容に触れることも言えません。困るんですよね、大好きだけど、言葉を費やせば費やすほど、見る楽しみを奪ってしまう映画って。本作はその空を境に、ほぼ半分で、ある「部屋」から次の「部屋」へと舞台を移します。この特異な状況とドラマ、想像を超えて行く展開を支えているのは、ジャックの存在そのものであることは間違いないでしょう。

息を潜めるジャック。
ママに抱きつくジャック。
シリアルを食べるジャック。
可愛い、可愛いよジャック!

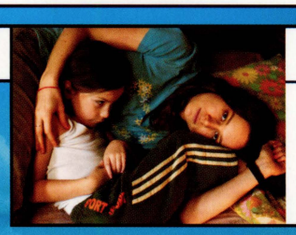
……妙な趣味は持ってませんのでご安心を。私もその年代の男の子の親だったこともあるので、いちばん可愛いのが4〜5歳だと知っているのです。そして同時に、

ちゃんと聞けよジャック!
口答えするなよジャック!
しっかり話せよジャック!

と憤ってもしまう。本気で話しても小さな子供には通じない。通じないのがあたりまえ。しかしときに、大人の都合が通用しないことに、いらついてしまう。相手は可愛い自分の子供のはずなのに。
このジャックの存在のリアルさが、いつのまにかジャックとママを間近で見守っているような感覚にさせていきます。その「体験」に、どうしてもあらすじや評判からは伝えようがない、「なんかすごい映画を見てる!」という興奮を覚えたのは私だけではないでしょう。
部屋を出て外へ出よう、そして大きくなるんだよ、ジャック。
映画を観終えて、ふと、小さく可愛かったころを思い出し、いま高校生の息子と話したくなりました。しかし「部屋」に行ってみると、散らかり放題もぬけの殻。我が家のジャックは思う存分、外をほっつき歩いてるご様子でした。早く帰って来いよこのやろう。

WALNUT.

STORY



閉ざされた［部屋］からの脱出。大きすぎる世界に飛び込んだ母と息子は——。

〈部屋〉で5歳の誕生日を迎えたジャックに、ママは話しはじめた。「この部屋の外にも世界があるの。」閉じ込められてきた〈部屋〉で生れ育ち、〈部屋〉以外を知らない息子に、本当の〈世界〉を見せるために、母は脱出を図る。
大きな世界に飛び出し、人生を取り戻そうとする母と、初めて〈世界〉に触れた息子は…。

提供：カルチュア・パブリッシャーズ、ギャガ　配給：ギャガGAGA★　原題：ROOM／2015年／アイルランド・カナダ／118分／カラー／シネスコ／5.1chデジタル／字幕翻訳：稲田嵯裕里
GAGA.NE.JP/ROOM　@gagamovie #ルーム　www.facebook.com/gagajapan
特別映像チェック!!
©ElementPictures/RoomProductionsInc/ChannelFourTelevisionCorporation2015
GAGAシアター　GAGAシアター　検索

4.8[FRI]まだ見たことのない〖世界〗へ—

〈先着限定〉特製イラスト・メッセージカード8枚セット付
ムビチケカード 好評発売中! ¥1,500(税込)

※特典は劇場窓口でお買い求めの方に先着でプレゼント。なくなり次第終了します。
※一部劇場を除く。詳細は劇場スタッフまでお問合せください。

溢れかえる希望に、温かい涙に、映画賞席巻!

本年度アカデミー賞®を貫いた愛

祝! 主演女優賞〔ブリー・ラーソン〕受賞!

他3部門ノミネート〈作品賞・監督賞・脚色賞〉

ルーム

ROOM

感涙!驚嘆!の絶賛コメントは中面へ!

閉ざされた［部屋］から、［世界］へ飛び出した母子は——。

監督：レニー・アブラハムソン　原作・脚本：エマ・ドナヒュー「部屋（上・下）」（講談社文庫刊）
出演：ブリー・ラーソン『ショート・ターム』　ジェイコブ・トレンブレイ　ジョアン・アレン『きみに読む物語』　ウィリアム・H・メイシー『ファーゴ』　ショーン・ブリジャース『ザ・ウーマン』

TELEFILM CANADA FILM4 AND BORD SCANNÁN NA hÉIREANN/THE IRISH FILM BOARD
WITH THE PARTICIPATION OF ONTARIO MEDIA DEVELOPMENT CORPORATION PRESENT AN ELEMENT PICTURES/NO TRACE CAMPING PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH DUPERELE FILMS A FILM BY LENNY ABRAHAMSON "ROOM"
BRIE LARSON JACOB TREMBLAY JOAN ALLEN SEAN BRIDGERS AND WILLIAM H. MACY CASTING BY FIONA WEIR CSA CSC ROBIN D. COOK CSA COSTUME DESIGNER LEA CARLSON MUSIC BY STEPHEN RENNICKS EDITOR NATHAN NUGENT PRODUCTION DESIGNER ETHAN TOBMAN
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY DANNY COHEN BSC BASED ON THE NOVEL BY EMMA DONOGHUE EXECUTIVE PRODUCERS ANDREW LOWE EMMA DONOGHUE JESSE SHAPIRA JEFF ARKUSS DAVID KOSSE ROSE GARNETT TESSA ROSS
PRODUCED BY ED GUINEY P.G.A. DAVID GROSS SCREENPLAY BY EMMA DONOGHUE DIRECTED BY LENNY ABRAHAMSON

提供：カルチュア・パブリッシャーズ、ギャガ　配給：ギャガ GAGA★
GAGA.NE.JP/ROOM

© ELEMENT PICTURES/ROOM PRODUCTIONS INC./CHANNEL FOUR TELEVISION CORPORATION 2015

慟哭極限！涙腺爆発！母が子を世界に送り出した瞬間、屈指の名作が生まれた。

繊細で知的かつスリリングな演出と演技。魂の解放を扱った映画の最高峰だ。

原田眞人さん［映画監督］

運命に翻弄されながらも極限の中での母子の絆と
無償の愛が生きる術を教えてくれた素晴らしい作品です。

伊東美咲さん［女優］

トラウマを抱える女性と“世界”を何も知らない少年。
二人のまったく違う目線の世界が切なくて面白い。
ヘビーなテーマなのに最後は前向きな涙がでました。
こんな映画、見たことないです。

IMALUさん［タレント、アーティスト］

あってはならない状況に置かれた、
異常と不幸この上ない生き方を強いられた人達が、
なんてまともに普通に正しく人生に向き合えるんだろうか

岩井志麻子さん［作家］

大変面白かった。部屋の中が“動”で、外の世界を“静”とした
逆転の手法に、一人の作家として敬意を表します。
一切説明しない、その潔さも素晴らしい。志の高い映画

奥田英朗さん［作家］

言葉を超える
母と息子の愛の物語に、涙が止まりませんでした…
もしも、子育てに立ち止まった時、また必ず観ようと思う映画。

小原正子さん［お笑いタレント］

胸が張り裂けそうになる思いで観た。たまらなかった。
子を授かった今、この映画を見ることが本当に出来て良かった。

鈴木おさむさん［放送作家］

目を逸らしたくなるほどのあまりにもウソのない世界なのに、その全てを
受け止めずにはいられない、愛と勇気が込められた作品。

木村文乃さん［女優］

心臓が止まりそうなほどハラハラしたり、ボロ泣きするほど
感情を揺さぶる素晴らしい映画でした。
極力事前情報を入れずにご覧いただきたい！

古泉智浩さん［漫画家］

泣ける作品である。ただ、泣く為に観て欲しくはない。
生きることはかくも困難で、しかし、誰かへの愛情があれば、
生きていけることをおしえてくれるから。

坂上忍さん［俳優、タレント］

何処に居ても、何があっても、親子の絆は永遠だ！
胸が苦しくなる程の衝撃作！
「俺も今から我が子を力一杯抱き締める」

照英さん［俳優、タレント］

2つの世界の描き方に
最後まで休むことなく感情を持っていかれました。
私の中では、早くも今年ナンバーワンの映画に出会いました。

武田梨奈さん［女優］

これこそ映画でしか表現できない真実。
たった2時間の中に、夢と現実のすべてが描かれている。

名越康文さん［精神科医］

16年間の人生で自分が失ってきたもの、そして今までに得たものを
1から考えてみようと思えた作品でした。もう一度観たい。

藤野涼子さん［女優］

生まれた時から“部屋”しか知らない子どもの恐れと驚きと勇気を
見事に演じたジェイコブ・トレンブレイ君が素晴らしい！

町山智浩さん［映画評論家］

自分にとっての一番良い居場所ってどこなのか？
その質問が頭の中で繰り返されています。
深過ぎて一言でこの後味を表現できない。スゴ過ぎます！

LiLiCoさん［映画コメンテーター］

物語に不可欠な冒頭のくだりは、原作者が脚本を書く際、最も勇気が
要っただろう。必要なことをブレずに書く、すごい脚本だと思った。
概ね善人しか出てこないのに異常な緊張感が漂い、
映画が終わった瞬間の感想は、「まだ観ていたい」だった。

和田竜さん［作家「のぼうの城」「村上海賊の娘」］

※順不同

アカデミー®賞とるのも納得の絶賛!!

圧巻のサスペンスに息を飲む前半【INSIDE】
愛とワンダーに感涙の後半【OUTSIDE】
未曾有の映画体験をあなたへ。